

若手社員向けキャリア研修 ～最初の会社でがんばるということ

■ねらい

キャリアを主体的に考え、最初の会社でがんばる大切さに気づいていただく研修です。冒頭では組織からの期待を改めて整理し、新卒ならではの恵まれた環境、転職のリスクについても学びます。給与の構造や組織のコストに関する理解を深めたうえで、今後30年に起きるイベントやその費用を確認します。自分の人生を充実させるためには何が必要か、どんな組織貢献が自分にはできるか、考えていただくプログラムです。

■テーマ概要

対象：新人・若手

時間：1日

人数：20名

■カリキュラム一例

内 容

1. 戦略的にキャリアを考える～主語は「自分」
- 【ワーク】入社を決めた理由と、成し遂げたいことを共有する
- (1) キャリアとは (2) ワークとライフ、お金のバランスをとる
- (3) 終身雇用時代の人生は人任せ？ (4) 自分の人生は「自分」で充実させる
- (5) 人生100年時代、揺るがない戦略が鍵となる
2. 最初の会社でがんばるということ
- 【ワーク】会社が新卒社員に期待しているであろうことを整理する
- (1) 組織における新卒社員の意義と価値とは
- ①ビジネスパーソンの判断軸は「組織の価値観（ビジョン、哲学、方針など）」
- ②組織の価値観が染み込んでいる人材が、組織成長の鍵となる
- ③新卒社員は、組織の価値観をまっすぐ受け止め、組織の未来を担う存在
- (2) 最初の会社で働き続けるメリット
- ①ビジネスにおける「当たり前」を一から教わることができる
- ②守ってもらえる環境で、存分に挑戦できる（人間関係、コミュニケーション）
- ③日本企業は経験価値を評価する（昇進、生涯賃金）
- (3) 転職のリスクを知っておく
- ①転職エージェントの利益構造 ②環境変化を甘く見ない
- ③目先の高給だけで判断しない～冷静な視点で、主体的に舵をとる
- 【ワーク】現時点で感じている自組織の価値観を、箇条書きで書き出し共有する
3. 数字での判断軸をもつ①～給与の仕組みについて考える
- (1) 給与の見方～額面と手取り (2) 給与明細の見方 (3) 福利厚生制度～目に見えない収入を知る
4. 数字での判断軸をもつ②～会社のお金の流れを知る
- (1) 会社は「利益」がないと存続できない (2) 利益は「入」と「出」から生まれる (3) 売上を増やす
- (4) 費用（コスト）を減らす (5) 費用（コスト）を固定費と変動費で考える (6) 人件費を考える
- 【ワーク】利益を増やすために、自分ができていることを考えてみる
5. 世代ごとのキャリアイメージとお金
- (1) 20代前半～経済的に自立する・社会で通用するスキルを身につける
- (2) 20代後半～ビジネススキル全般に磨きかける・まだ見ぬ30代以降の世界に備える
- (3) 30代前半～仕事でも家庭でも求められる役割が増す・資金計画が必要になる
- (4) 30代後半～これまでの経験や培った能力・スキルをいかす
- (5) 40代～次世代育成に転換する・第二の人生を準備する時期
- (6) 50代～キャリアの喪失が始まる・第二の人生の始まり
- (7) 60代～第三の人生の始まり・ライフとワークを楽しむ時期
6. キャリアを見通す
- (1) これから30年を考える 【ワーク】これから30年を具体的に書き出し、必要なお金を予測する
- (2) 長い目でこれからの未来を捉えること (3) 「仕事力」を獲得し、主体的にキャリアを選べる人材となる
7. まとめ 【ワーク】本研修の内容を踏まえ、気づいたことを共有する